

「特集 建設分野の魅力」 第12回



兵庫県建設業協会丹波支部長
森津 英三氏

建設業者
―建設業者の対応は。また、復旧・復興の中で感じたことは。
森津 被災者が避難場所から早く帰宅できるように、道路に堆積した土砂の撤去を最優先で行った。近年、建設業が衰退して地元には大型機械も人もそう多くない。そんな中で各業者は自分たちで機械を手配して作業に当たった。残土置き場があつたという間に一杯になるのを見て強い結束力を感じた。地元建設業の力と使命感を示すことができたと思っている。
門垣 被災直後、トラックで被災地に入りスコップで土砂を撤去

災害の教訓 未来の礎に

関係者に聞く 丹波豪雨災害からの復旧・復興

復旧工事が完了し、6月3日に記念式典が行われた。関係者に当時を振り返りながら、復旧・復興の苦労や喜び、使命感を語ってもらった。
(取材協力=兵庫県建設業育成魅力アップ協議会)



2014年8月16～17日に丹波市を襲った「丹波豪雨災害」では、集中豪雨で山から約50万立方メートルの土砂が流出、山裾の住宅を押し流したほか、土砂や流木が河川をせき止めたことから被害が拡大、全半壊や床上浸水など1023戸の家屋が被災した。経験したことのない大災害に見舞われた被災者の命と安全を確保し、日常生活を取り戻そうと力を尽くしたが、行政、建設業者、そして地元住民だ。



丹波土木事務所河川課課長補佐
石原 純氏

石原氏 効率的な工事の模索を

復興に関わる人々の間を結び、工事を着実に進めることがわれわれの大きな仕事だ。
石原 担当している工事では、できるだけ現地に足を運び、作業の様子や地元の方々の生活に支障が無いかなどを自分の目で見るように心がけている。そうすることで地元住民や施工業者との信頼関係も生まれる。要望も電話だけでなく直接立ち会って話し合うことで、いい解決方法を導き出せると思う。



丹波土木事務所河川課主任
梶 美和氏

梶氏 住民との信頼関係大切

―災害復旧担当としてのやりがい。は。
石原 災害復旧にはスピード感が重要。うまく進まないと感じたら、その原因を探して解決していく。担当者の進め方ひとつで進展状況が変わってくる。そこが難しい点でもありやりがいでもある。
梶 護岸や橋が整備されたことが目に見えて分かる。それが私たちの仕事の魅力だ。河川や砂防は生活基盤を支える大切な要素だが、ようやくこれらが復旧し、安全な生活ができるようになってきた。丹波は自然が豊かで美しいので、災害の発生前以上に観光客が訪れ地元の人たちと交流できるようになってほしい。

余田氏 失われた日常取り戻す

―振り返るの教訓は。
余田 災害の2年前に自治会でハザードマップを手作りしており、自治会長や消防団が危険区域の人を集中的に避難誘導した。ハザードマップの想定が的確だったおかげで人的被害が非常に少なかった。自治会では普段からコミュニケーションを深めていた。日頃の良好な人間関係が被災につながったと感じる。
―行政と建設業者との連携はどうだったか。
余田 県と市が連携して「復旧・復興計画」を策定し進めてきた。この計画に沿って県と市が役割を分担し、370カ所の復旧・復興を14～16年度でほぼやり遂げた。地元建設業者もスピード感ある復興を支えた。県・市・建設業者がタッグを組んで効率よく進めたことは今後のモデルになるだろう。



前丹波市復興推進部長
余田 一幸氏



砂防えん堤が完成した徳尾東谷川の現場＝丹波市市島町徳尾

森津氏 建設業の結束力感じた

門垣氏 子どもにも誇れる仕事

門垣 被災直後、トラックで被災地に入りスコップで土砂を撤去した。復旧工事を通じて地元の方々と交わり、完後は「寂しくなるな」と声をかけられ、自治会から感謝状をいただいた。光栄だし、うれしさとやりがいを感じた。われわれが造った構造物は50年以上残る。子どもにも「お父さんが造った」と見せて誇れる。この仕事は、自分で計画を立て、実行し、見直し、完成に至る。そのプロセスを楽しみ、苦労を乗り越えたい。達成感を得られる。道路もあれば橋もあり、現場ごとに状況が違つので同じ工事は一度と無い。技術の進歩で日々新しいものに触れることもできる。非常にやりがいがある仕事だと感じている。



池田建設株式会社
門垣 誠吾氏

大槻氏 防災対策の大切さ痛感

住民
―自治振興会長として災害復興を通じて感じたことは。
大槻 災害発生後、行政が非常に手際よく対応し、建設業者を各エリアに配置した。地元の建設業者も素早く被災地に駆けつけてくれた。建設機械が動いているのを見ると安心感があった。被災直後は復興に10年はかかるだろうと思

丹波市市島町前山地区自治振興会長
大槻 俊彦氏



復旧・復興事業が完成した土砂流出現場(奥)で当時を振り返る大槻氏＝丹波市市島町上竹田



平成28年8月丹波市豪雨災害復旧記念式典

住民や行政、工事関係者らが防災の誓いを新たにした「丹波豪雨災害復旧記念式典」＝ライフピアいちじま

